

いわて銀河鉄道沿線地域等活性化協議会

平成21年3月23日設置
平成22年3月18日連携計画策定

概要

★IGRいわて銀河鉄道は、沿線人口の減少等による利用者の減少や寝台特急の減便等により、今後の経営状況の悪化が見込まれることから、戦略的かつ体系的に事業展開を図り、持続的運営を図る必要がある。

このため、盛岡市玉山地区でのバスの実証実験や遠距離通勤定期客の確保等、利用者利便の向上や利用者増加のための施策を実施する。

○IGRいわて銀河鉄道の現況

- ・経営区間 盛岡～目時間82km
- ・駅数 17駅(有人15駅、無人2駅)
- ・JR東北本線、JR花輪線、JR田沢湖線、青い森鉄道線等と接続
- ・盛岡駅、二戸駅等主要駅で路線バス及び長距離バスと接続

○IGRいわて銀河鉄道の課題

- ・沿線人口の減少等による利用者の減少や寝台特急の減便により、急速に経営状況が厳しくなることが見込まれる。

○地域公共交通総合連携計画(平成22年度～24年度)

- ・利用促進 輸送サービスの向上 ①輸送サービスの向上
②バス事業者等との連携
誘客促進等 ③誘客・域内交流の促進・支援等
- ・安全・安定輸送の確保 ④計画的な設備整備

○平成22年度事業の主な内容

- ・盛岡市玉山地区バス実証運行
- ・遠距離通勤定期客の確保
- ・乗継定期券の拡大
- ・企画きっぷ等の展開 など

